

# 但馬地方のギフチョウ新産地の記録

黒井和之

但馬地方のギフチョウ *Luehdorfia japonica* については、木下ら (1986) によって30産地の記録が報告されている。しかし、その採集地の記録は豊岡市周辺を中心とした一部の地域に偏っており、但馬全域からみても限られた地域が重点的に調査されているのがよくわかる。

筆者はその後、浜坂・温泉・村岡の各町で新たに10産地を記録しているので、とりあえず報告しておきたい。また、この報告以外にも、今後多くの新産地が発見される可能性が残されている。とくに、関宮町と但東町を結ぶ線より南部の地域は記録が少ない。今後、発生期のフィールドでの調査が、但馬在住の諸氏の手によって行われるよう切に望みたい。

なお、採集記録のデータを一部提供していただいた山本一幸氏、採集行を共にされた足立義弘氏にお礼申し上げたい。

## 〈データ〉

浜坂町久斗山 (1987-IV-29, 1♂), 温泉町後山 (1986-IV-14, 1♂), 温泉町越坂 (1985-IV-17, 2♂♂; 1986-IV-20, 1♂), 温泉町蒲生峠 (1986-IV-20, 3♂♂), 温泉町春来 (1987-IV-19, 4♂♂1♀; 1987-IV-20, 3♂♂), 温泉町檜尾 (1986-IV-29, 1♂), 温泉町海上 (1986-V-4, 1♀), 村岡町兎和野 (1987-V-4, 1♂), 村岡町小城 (1987-V-4, 6♂♂), 村岡町和佐父 (1987-V-4, 1♂)

今回この報告をするにあたり、主に木下ら (1986) の文献を参考にした。この報告以外にも、但馬地域のギフチョウに関する文献があるのは知っている。また、当会会員諸氏による未発表記録がいくつかある。筆者は、現時点においてそれらすべてを掌握していないので、今回は木下らの追加報告という形をとった。

## 参考文献

- 木下ら (1986) 但馬地域の蝶類目録, IRATSUME 10:55-95.  
尾崎 勇 (1979) 兵庫県 of ギフチョウ, ひろおび 4.